

～ あなたの運命は風水で好転できる ～

📌 『運』は風水で呼び込める

昔からことわざにあるように、「人間万事塞翁が馬」といいますが、なるほどこの世は、ほんの一瞬の選択によって、吉と出て幸運をつかんだり、凶と出て不運に泣くものです。

この一瞬の選択を世間では『運』とか『ツキ』とか呼んでいるわけです。そして毎年、お正月には良い運を呼び込んで厄を除けるために、日本人の約半分の人が初詣にでかけます。しかし現実はどうかという、残念ながら、年間相当数の交通事故死・焼死・溺死・他殺など、いわゆる仏教でいうところの横変死が増えることはあっても減ることはありません。

また、がん・心臓病などの重病で亡くなる人は、当然のように増え続けています。ある人は病院に頼り、ある人はさまざまな健康法に頼り、ある人は新興宗教にすがるといったように、世の中がまさに世紀末の大混乱の様相を呈しています。

そんな状況の中で人生の羅針盤となりうるのが、中国四千年の歴史の中で生まれた、開運の秘術といわれる「風水学」。風水学とは、簡単にいえば大自然のエネルギー、『気の流れ』を見るものです。

それぞれの場所には、方角や地形によってよい気の流れ（律気）、悪い気の流れ（呂気）があります。それを読み取って、悪い気による厄難を避け、よい気の流れを取り入れ、運命を好転させていこうとするのが風水学なのです。

📌 あなたの未来が「風水定位盤」に現れる

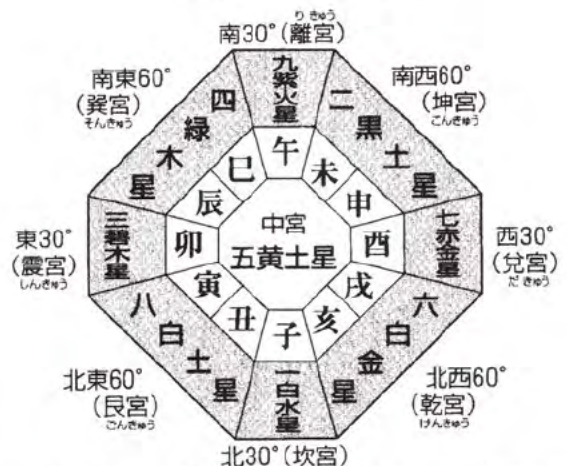
図1を見てください。これは風水定位盤といわれるものです。風水学の最も基礎となる九星の配置を示した盤です。中央の八角形の部分を中宮と呼び、この中宮を囲んで、それぞれ方角を持つ8個の宮があります。風水学ではこれらの宮を次の言葉であらわします。

乾宮（北西）・坎宮（北）・艮宮（北東）・震宮（東）・巽宮（南東）・離宮（南）・坤宮（南西）・兌宮（西）です。

そして、定位盤で中宮に五黄土星をすえて、以下、六白金星（北西）・一白水星（北）・八白土星（北東）・三碧木星（東）・四緑木星（南東）・九紫火星（南）・二黒土星（南西）・七赤金星（西）というふうに九星が配置されています。

これらの星は、毎年、毎月、毎日それぞれの9年、9ヶ月、9日を一期として周期的に循環しています。この九星の位置の『移動』が人間に与える影響を重視した運命学もありますが、本書では九星を固定して使う陽宅法（家相）を中心に、吉凶を判断していきます。あなたの生まれ星（本命星）がどれなのか、表1を見て調べてみましょう。

図1 定位盤



※風水学の基礎となる九星を配した盤。中心に五黄土星を据え、内側から十二支、九星、方位の準で構成されている。

※北を下方にするのが盤の正式な置き方。

定位盤のそれぞれの角度は、東西南北は30度に定めており、北東・南東・南西・北西は60度に定められています。なお、十二支別の方位はそれぞれ30度ずつ配分されています。

表1 本命星早見表

※2月の節分以前に生まれた人は前年の本命星となる。

※節分は毎年2月4日、閏年(印)のみ2月5日です。

生まれ年	本命星・十二支	生まれ年	本命星・十二支	生まれ年	本命星・十二支	生まれ年	本命星・十二支
明治33	一白水星・子	昭和元	二黒土星・寅	昭和27	三碧木星・辰	昭和53	四緑木星・午
34	九紫火星・丑	2	一白水星・卯	28	二黒土星・巳	54	三碧木星・未
35	八白土星・寅	3	九紫火星・辰	29	一白水星・午	55	二黒土星・申
36	七赤金星・卯	4	八白土星・巳	30	九紫火星・未	56	一白水星・酉
37	六白金星・辰	5	七赤金星・午	31	八白土星・申	57	九紫火星・戌
38	五黄土星・巳	6	六白金星・未	32	七赤金星・酉	58	八白土星・亥
39	四緑木星・午	7	五黄土星・申	33	六白金星・戌	59	七赤金星・子
40	三碧木星・未	8	四緑木星・酉	34	五黄土星・亥	60	六白金星・丑
41	二黒土星・申	9	三碧木星・戌	35	四緑木星・子	61	五黄土星・寅
42	一白水星・酉	10	二黒土星・亥	36	三碧木星・丑	62	四緑木星・卯
43	九紫火星・戌	11	一白水星・子	37	二黒土星・寅	63	三碧木星・辰
44	八白土星・亥	12	九紫火星・丑	38	一白水星・卯	平成元	二黒土星・巳
大正元	七赤金星・子	13	八白土星・寅	39	九紫火星・辰	2	一白水星・午
2	六白金星・丑	14	七赤金星・卯	40	八白土星・巳	3	九紫火星・未
3	五黄土星・寅	15	六白金星・辰	41	七赤金星・午	4	八白土星・申
4	四緑木星・卯	16	五黄土星・巳	42	六白金星・未	5	七赤金星・酉
5	三碧木星・辰	17	四緑木星・午	43	五黄土星・申	6	六白金星・戌
6	二黒土星・巳	18	三碧木星・未	44	四緑木星・酉	7	五黄土星・亥
7	一白水星・午	19	二黒土星・申	45	三碧木星・戌	8	四緑木星・子
8	九紫火星・未	20	一白水星・酉	46	二黒土星・亥	9	三碧木星・丑
9	八白土星・申	21	九紫火星・戌	47	一白水星・子	10	二黒土星・寅
10	七赤金星・酉	22	八白土星・亥	48	九紫火星・丑	11	一白水星・卯
11	六白金星・戌	23	七赤金星・子	49	八白土星・寅	12	九紫火星・辰
12	五黄土星・亥	24	六白金星・丑	50	七赤金星・卯	13	八白土星・巳
13	四緑木星・子	25	五黄土星・寅	51	六白金星・辰	14	七赤金星・午
14	三碧木星・丑	26	四緑木星・卯	52	五黄土星・巳	15	六白金星・未

❧ 「風水」という名称はこうして生まれた

墓相、家相、地相を占う「風水」のもともとの言葉の意味は、古書に「風を蔵して水を得る」と書かれているように、まわりが山に囲まれていて、烈風が吹き込むのを防ぐようなところで、近くに川や湖があり、井戸を掘ると良質な水が得られるような土地をよしとしていたところからきています。

また、陰陽五行説にあるように、木(風)・火・土・金・水とあって、最初の木(『木』は春の木で、春になると良風が吹くことから『風』とも呼ぶ)と最後の水を合わせ、この世の天地いっさいは木、すなわち風にはじまり水で終え、さらに風に戻るとする中国的な自然観、宇宙観も影響しています。

そして儒学の原理である易経では「風水渙」という章があります。それは、64卦(章)からなる易経の教の1つで、神仏を敬い祖先を尊んで、大切に祭祀することを勧める儒教道徳の基本理念です。

「風水」という名称は、こういった理念や自然観、宇宙観から生まれたのです。